

1 はじめに

長期にわたるデフレと景気低迷から脱却するために講じられた、財政政策、金融緩和政策、成長戦略を3本の矢とする国の一体的な経済政策により、個人消費の拡大、企業収益、雇用、所得の改善が見られるなど、平成25年度の我が国の経済は、緩やかな景気回復基調にありました。

こうした中、本市の一般会計決算においては、企業収益の改善が見られたものの、法人実効税率の引き下げなどの影響から、法人市民税は前年度比3.2%減となりましたが、個人市民税が前年度比1.6%増、新築家屋の増加から固定資産税も前年度比1.5%増となるなど、市税全体では約6億9000万円、前年度比1.4%の増加となりました。また、配当割交付金や、市場における株式取引が活発であったことから、株式等譲渡所得割交付金が増収となるなど、歳入全体では前年度比4.9%の増加となりました。

歳出においては、JR春日井駅自由通路等整備、総合保健医療センター整備、東部調理場整備などの大型プロジェクト事業の推進を図り、救急診療体制の充実や脳ドック用MRI設置などの健康のための施策、区・町内会などへの防犯カメラ設置補助、橋りょうの耐震補強工事などの安全安心の確保のための施策、プラスチック製容器包装の分別収集などの環境保全の推進のための施策、プレミアム付商品券・建設券の発行などの産業振興のための施策に重点的に取り組みました。

また、市制70周年を迎え、「つながり」をテーマに、各種記念事業や市民協働事業を実施したほか、第五次総合計画に掲げる市の将来像「人と地域が輝き、安全安心で躍動する都市」の実現のため、次の6つの目標をまちづくりの大綱とし、諸施策を実施しました。

- (1) 誰もが安全安心に、いきいきと暮らせるまち
- (2) 子どもが健やかに育ち、生きる喜びを感じられるまち
- (3) つながりと信頼を深め、みんなの力で地域社会をつくるまち
- (4) にぎわいと活力に満ち、未来に輝くまち
- (5) 快適で美しく、いつまでも住み続けたい循環型のまち
- (6) 効果的で効率的な自立した都市経営